SAKATA JC AWARDS 2017

地域最興まつり委員会

酒田まつり夜巡行

最優秀事業賞

日時:2017年5月19日（金）
場所:みなとオアシス酒田エリア（みなと海鮮市場駐車場）

酒田まつりは歴史に裏付けされた人々を魅了する力を持っています。地域間で競いながら生まれた立て山鉾も酒田を象徴する独自性の一つであり、この誇れる歴史・伝統文化を継承し、後世に伝えていかなければなりません。魅力ある地域への発展と経済の活性化を促していく為には、この日ここでしか見る事の出来ない特異性に磨きをかけ、共感を生みだす事業を展開してく必要があります。今年度の大きな挑戦であった夜巡行「動く立て山鉾」は大衆に慶びと感動を創出しただけではなく、本祭り山車巡行へ参加している様々な団体に「来年は夜も参加してみたい」という心境の変化ももたらしました。新たな試みであるがゆえに困難を極めた事業ではありましたが、未来へ繋がる大きな一歩として、新たな賑わいで共感を生み魅せる夜巡行が実現できたと思います。
今年度、日和山から降臨し自由に動けることを示した立て山鉾は、これからの酒田まつりにどのような効果をもたらすのでしょうか。次年度への引継ぎでは、立て山鉾の周りにどんどん山車を集めてほしいとまとめさせて頂きました。来年の宵祭り、立て山鉾の麓に集った山車がただ展示してあるだけだとしても、その翌年には少しずつ装飾も施され、ほろ酔いのお父さんお母さん子供達が自分の山車に集まって太鼓や笛を笑顔で奏でる姿があちらこちらで見受けられることでしょう。更にその翌年には東京オリンピックで日本中が心おどる中、酒田らしい夜のおまつりがしっかりとした形になって開催され山車の質の向上はもちろんの事酒田まつり全体の賑わいの創造に寄与します。これらは一年で成しえる事は出来ません。その大きなうねりが起きた時に、きっかけは2017年の夜巡行であったと言っていただける事業を実現する事ができました。

未来創造国際
青少年室

魅力発見！
イングリッシュサマーキャンプ

優秀
事業賞

日時:2017年8月10日（木）～2017年8月12日（土）
場所:山形県海浜自然の家（遊佐町）

郷土の魅力を知ってもらうために、海浜自然の家の活動プログラムを採用し職員の指導のもと、地域の強みである鳥海ジオパークを体感できる設えとしました。2泊3日の合宿事業として英語の実践勉強に集中できる環境を作り、最後には子どもたちが外国人に現地で観光案内する様子、また、写真スライドを使い発表する様子を動画で撮影し配信しました。また、単なる英語の勉強だけでなく、酒田みらいユースプロジェクト第1期生の出前授業、日本青年会議所の「世界の中の日本プログラム」、ALTのホームタウン紹介などの講義を通して外国および外国から見た日本についても学ぶことができました。
当事業を通して、ALT及び外国人ボランティアにも、初めて当地域を訪れていただき、体験を通して当地域の魅力を感じてもらうことができました。事業実施後も多数の保護者・子ども達から御礼、次年度開催を望む声を頂いております。複数のメディアにも紹介していただきました。まさに当事業が魅せる運動で共感を生み出した結果だと考えております。子ども達は将来の民間外交の担い手であります。終了直後のアンケートにて100％の参加者に楽しんでいただき、外国人に苦手意識を持つことなく楽しんでお話することができたと回答いただいております。また、参加者全員に「住み暮らすまちの魅力を再認識することができた」と回答いただいております。
幼少期の原体験は人生のベクトルを左右するため、大きな影響を子どもたちの人生に及ぼします。本格的に英語学習に取り組む前の小学生に英語の実戦経験を保護者負担ゼロで行うことができた当事業の地域への貢献は大きいと考えます。また、教育委員会に依頼し対象児童すべてに学校からのお便りとしてチラシを配布する手法は、今後の酒田JCの青少年事業においても有効と考えます。今回、多くの保護者に御礼と次年度開催の要望を頂き、当事業を通した子ども達の成長についての感想を頂くことができました。当事業は、誇りあふれる人財の育成に寄与した事業であると考えます。

魅力発信国際委員会

5月公開例会　酒田まつりを通した国際交流事業
The sakata matsuri Experience!

優秀事業賞

日時:2017年5月18日（木）～2017年5月20日（土）
場所:港南コミュニティ防災センター・旧酒田商業高校体育館・酒田まつり会場

地域性としては、有効な観光資源である酒田まつりを通した国際交流を展開しました。当地域の良さをPRするために、酒田まつりの英文紹介フェイスブックページを作成し、また、山形県が中国語とタイ語で運営する山形の観光PRフェイスブックページにも酒田まつりを紹介しました。山形市からは山形大学様と連携し山形大学新入留学生のオリエンテーションとして当事業を採用していただき、留学生44名を派遣いただきました。また、鶴岡市からは出羽庄内国際村と連携し当事業を日本語学校の遠足企画として採用いただき、日本語学校生36名をお招きしました。さらに、これまでの酒田JCの国際事業で知り合った方々を中心に庄内在住者45人を招聘しました。多数の参加者を招き、酒田まつり・酒田市の魅力を発信できたのは正に魅せる運動で共感を生み出すことができたからだと思います。さらに共感の輪を広げるべくSNSでの発信を促し発信してもらいました。
酒田まつりの山車行列団体として100名を超える外国人と酒田JCメンバーが参加したこと自体が、まちに活気をもたらしたと思います。山形大学、出羽庄内国際村からも次回を待ち望む声を頂いております。特に、山形大学様とはこの事業をご縁に、山形大学留学生のインターンシップを次年度開催することまで決定し、関係を深めることができました。
外国人が発信してくれた酒田市内観光や酒田まつりの模様の写真はSNSを通じて当地域を知らない方にも当地域の魅力を伝えてくれています。
酒田の国際化につながり、交流人口の拡大、それに伴うインバウンドの獲得に向けた動きのきっかけに当事業はなりました。
また、酒田まつり期間を例会期間とする例会をまつりライン以外の委員会が行うこと自体が酒田JCの歴史の中で、極めて独自性が高いことでありました。多数の各団体様と協同し、実現できた当事業は活気あふれるまちの実現に寄与した事業であると考えます。

素晴らしき哉青少年育成委員会	第33回わんぱく相撲酒田まつり場所全国大会

日時:2017年2月15日（水）～2017年8月8日（火）
場所:酒田市日和山公園・両国国技館

酒田まつり場所は、かつてはどこの神社にもあった土俵でお祭りの際に行われていた相撲大会の再現をイメージして開催しました。大会の周知では、学校や学童への訪問やTV・CM、新聞とSNS・HPの活用など多岐に渡って酒田まつり場所への出場申込と当日の観覧を呼びかけました。さらに、今年で66回目という長い歴史があり、毎年三千人が来場する「酒田市子どもまつり」で相撲体験会を実施し、110名の子ども達に相撲の魅力を伝える事ができました。また、新しい試みとして屋台村チャレンジショップ「ちゃんこのツヨシ」の運営を通して不特定多数の人に周知を行い、その販売収益は公益事業である本事業費に繰り入れて活用できるため、ご来店された市民の方々からちゃんこを食する事で青少年育成事業に協力していただく事ができる機会を提供しました。新聞記事には計5回掲載され、効果的なプレスリリースをする事で共感を生み出す事業を展開できました。
周知活動では屋台村の他に、TVCMの放送という新たな試みに加えてTV番組の宣伝も工夫し、大人が自らまわしをつけて大会の告知を行い、FACEBOOKページと連動してシェアする事で多くの市民に印象づけることができました。そして酒田まつり裏祭り開催にあたり、日和山公園に土俵を製作して会場設営しました。設置業者や酒田市土木課とはぎりぎりまで交渉を重ねて、初の日和山公園開催を実現することができました。また、当日は「わんぱくまつり」と題し、お馴染みのちゃんこブースの他に、活動エリアのゆるキャラとのコラボレートや儀式相撲をお披露目して神事としての文化も伝えるなど、裏祭りに新たな賑わいを創出することができました。さらに、全国大会では、実行委員会が配信しているインターネット中継を使って、酒田会場でも観戦できるパブリックビューイングを実施し、中心商店街でJC事業に間接的に参加できる環境を作ることができました。

絆で繋げるまちづくり委員会	第29回日本海夕陽ラインシンポジウムin遊佐

日時:2017年10月7日（土）
場所:鳥海温泉　遊楽里　鳥海文化ホール

集めた署名を遊佐町長・国会議員・JCが一緒になって中央へ届ける姿を魅せることによって、JCの活動を強烈にアピールすることができます。また、結果を出したことを市民が知ることによって、今後の活動への参加や入会にも繋がっていきます。また、東京一極集中がますます進む中で、地方が経済的に成長することが、大規模災害時に日本を救うことになるという発信ができたことで、地方の強みをアピールすることができました。インフラ整備を通して、単なる道路の開通にとどまらず開通した先を見通したまちのあり方や、これからのまちの未来予想図を参加者と一緒に考える機会を提供することができました。開通後のまちを見越して備えることが地域活性化へ繋がることを多くの市民に認識していただくことができました。

事務局	2月例会

日時:2017年2月21日（火）
場所:酒田勤労者福祉センター　3階　多目的ホール

第1部でご講演いただく阿部敦先輩は、理事長在任中に東日本大震災が発災。そんな状況下で、強力なリーダーシップにて迅速な復興支援活動や中止しかけた酒田まつりの開催、またそんな中での会員拡大2冠に導きました。会員のキャリアの若年化、退会・休会者の増加等、酒田JCの過渡期となった今だからこそ、改めて青年会議所が持つ可能性を現役メンバーや新入会員予定者に伝えていただき、組織力強化・会員資質の向上に繋げるべく、講演いただきました。第2部でご講演いただく鈴木篤先輩は、2010年より会員拡大担当となると、3年間で60名から148名まで拡大し、2011年の拡大2冠に続き、2年連続で全国第1位を獲得するなど、「拡大の聖地・酒田」とよばれる礎を築きました。どちらも酒田JCだからこそ揃えることができた講師でした。明るい豊かな社会の創造に向けて運動・活動を展開している当会議所にとって、常に地域にとって必要な組織であり続ける必要があります。その会の存続に直結するのが、拡大活動です。「拡大の聖地・酒田」とよばれる礎を作った2名の先輩を講師としてお呼びし、拡大への意識の喚起を行ったことは、会の存続のみならず、誇りあふれる人財の育成に寄与するという点でも重要な事業となりました。

未来へつなぐ拡大広報委員会　4月例会

日時:2017年4月14日（金）
場所:酒田勤労者福祉センター

各委員会が行った事業は地域の強みを生かした素晴らしい内容でした。その事業を多くの人に伝え、運動としていくにはこれからも魅力的な情報発信が必要です。各委員会がフェイスブックなどで行った参加推進や事業案内などは「社会性」「話題性」「意外性」のいずれかを取り入れたものも多く、とても興味をそそる内容でした。これからも「創る広報」を参考にした発信を行えば多くの市民の共感を生み出せると考えております。
現代は誰もが簡単に情報発信できる時代で、広報に興味を持つ多くの市民に参加していただきました。セミナーに参加した方が少しでも発信への意欲を高め、自分のお店や企業はもちろん、地域の魅力を発信していくことで、私たちの住むこのまちの魅力が広まり、希望あふれる地域の創造につながって行くと考えております。

絆で繋げるまちづくり委員会　6月公開例会　災害体験フェスティバル ～ドーンと防災2017～

日時:2017年6月17日（土）
場所:かんぽの宿酒田　スワンドーム

地元で商売を営んでいる企業や活躍しているボランティア団体などを多く巻き込んで、出店・協力をしていただきました。当日のブースのみではなく、出店していただいた団体を通しての参加推進でも協力していただくことができ、JCのネットワークに地元企業などのネットワークも加わって、新たなコミュニティを構築することができました。一般の参加者に多彩な人々が一つの目的に向かって一緒に活動している姿を魅せることで、共感をうみ出すことができました。行政・企業など多くの団体との繋がりをうんだことにより、次年度以降も連携可能となるきっかけをつくり継続して防災・減災に関するイベントを協働して行っていく土台となりました。また、皆さんに大人気の青空応援団も着々と団員を増やし、その活動はすでに委員会の手を離れ、独自の運動へと変わりつつあります。今回の防災フェスティバルをきっかけに、多くの市民・団体が防災・減災への意識が高まり、防災のまちとして知られる日がくると信じております。

まちはひと委員会　7月公開例会

日時:2017年7月8日（土）
場所:東北公益文科大学　公益研修センター　大ホール

このまちは公益の地。この地には本業を通じた社会貢献があたりまえのように根付いています。そして、公益の祖本間光丘の施策からも分かるように、本業を通じた社会貢献は単なるボランティアではなく、他を利することによりさらに己を利し、売り手、買い手、地域の三方全てを利する好循環を生みます。その公益資本主義が根付くこのまちに「私利を追わず公益を図る」を生涯に亘って貫き通した、日本近代化の父:渋沢栄一の子孫である渋澤健氏をお招きし、みんなが幸せになるための在り方を学びました。また、地方都市において公益資本主義を実践し業績を伸ばし続ける企業に赴き、そのメソッドを学び、委員会メンバーでその学びを編集することによりさらに理解を深めた上でVTR上映をいたしました。VTRでは社会貢献の重要性だけでなく、いかに市民と共有・共感できるかがさらなる発展の鍵になることを学びました。来場された大多数の方より本業を通じた社会貢献が必要であると共感していただきました。
消滅可能性都市に類され、若者が自らの可能性と雇用の機会を求め東京圏へ流出する現状から、地元企業の経営力強化と働き甲斐の増進・雇用の創出がこの地域の喫緊と捉え本事業を開催いたしました。第三部で上映したVTRでは、いわゆる社会的弱者と呼ばれる方々を積極的に雇用することで1つめの社会貢献をし、その従業員が行う本業を通じた社会貢献による1つめよりも大きな社会貢献、そしてそこで働き甲斐を感じ活き活きと働く従業員による社業発展と、共感の拡がりを示しました。また、第一部で現在の社会がどうなっているのかを正しく認識したうえで、第二部では投資の視点から今後も存続し続けるであろう企業とは、どのようなマインドで、どのようなことを行っているのかを示すことにより自社の存続可能性を高める学びを得ました。来場者アンケートの設問「明日から取り組む具体的な一歩目を教えてください」に対し、「従業員と一緒に学び全てを共有していく」「周囲が喜ぶことを想像しながら未来を考える時間を持つ」といった積極的な回答をいただいたことからも、来場者に対し、明るい豊かな社会の実現のために、本業を通じた社会貢献（公益資本主義）が必要であると示すことができました。

総務委員会	8月通常総会

日時:2017年8月8日（火）
場所:香梅咲

酒田の歴史・文化・格式があり、これまで酒田青年会議所の理事・監事候補者の選任承認の場として利用してきた歴史があり、次年度体制を整える場として相応しい会場「香梅咲」で開催しました。会員数により近年他会場で開催されましたが、今年度の「香梅咲」での開催は、会場が創りだす雰囲気により、理事・監事候補者は理事・監事を背負う責任と緊張感を感じるとともに、メンバーにその姿勢を魅せることができたと思います。2017年度の運動を展開する中、2018年度の理事候補者・監事候補者が承認され、組織体制を整えることで2017年度から2018年度へバトンを渡すことができ、「明るい豊かな社会の実現」に向け、更なる飛躍を期待することができた事業であると考えます。変わり続けるために、変えてはいけないものの学びがあり、今後の酒田青年会議所の運動・活動にも繋がる事業運営だったのではと思っております。

横堅伝承山鉾委員会	立て山鉾魅力発信計画

日時:2017年3月15日～2017年9月17日（日）
場所:みなとオアシス酒田エリア（みなと海鮮市場前駐車場）・海洋センター

立て山鉾は酒田の地域性・独自性を象徴したまちのシンボルであると考えます。また酒田まつり自体誇れる歴史・伝統文化を継承し、後世に伝えつつ新しいことに挑戦し文化を内包していった歴史があります。その上で今年度はプロジェクションマッピングからヒントを得て立て山鉾に映像投影をし、その資金をクラウドファンディングで調達しました。立て山鉾は酒田市民の方々からご協賛をして頂きを建設費用にあててきましたが、県内外から共感の輪を広げられた事は次年度以降の山鉾事業のみならずLOMの活動・運動に対しても大きな一歩を踏み出せたと考えております。またミニチュア立て山鉾は今まで山鉾事業で張子製作物を市や市民、企業に提供した実績はありましたが、現在の立て山鉾「本丸」を再現し通年で鑑賞できるようにできたことは、今後山鉾の存在を市民の方々に周知する一助になると信じておりますし、酒田の地域性を広める魅せる運動につながると考えております。立て山鉾は存在そのものがまちの独自性を表現していると考えております。しかしながら、全国・全世界に視野を広げた場合必ずしもそうだとは限りませんし、当会員内でも立て山鉾への愛着や誇りが定着できているとは限りません。その上でも常に目標を高く持ち新たな挑戦を続けることは重要なことだと思います。今年度はまさに大きな挑戦をもって事業に臨みました。映像投影やクラウドファンディング、そしてミニチュア立て山鉾は次世代に向けた発信に他なりません。今年度芽が出る事業ではなく、次年度以降に希望を託していく連続。不連続の連続が山鉾事業では受け継がれています。立て山鉾を中心とした賑わいを今年度も実現することが出来ましたが、常に挑戦をし続け変わらないために変わり続けることを次年度以降へ事業を通して伝えることが出来たと思います。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

公益社団法人 酒田青年会議所

2017年度

アニュアルレポート

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 魅力発信国際委員会

委員会運営の報告・検証

〇室会議１回／月、委員会１回／月の開催を基本と、事業担当月でも週１回を超えない委員会運営をして実現しました。一年間の室会議・委員会スケジュールを年初に日程を決めて実践しました。
〇委員会開催時間は７時開始で９時半前には終了を１年間遵守しました。（例会直前準備日以外）
〇委員会から次年度理事３名を輩出しました。
〇もともと意欲が高いメンバーが多かったが他委員会の例会・事業にもかなり参加することができた。
〇みんなが集まったとき、やること・決めることが明確だった。
●計画的に進めましたが委員会参加率は５０％。
●上記実現のための委員長の事前準備・作業が大変でした。
●情報をメンバーに伝えきれておらず全体を把握しているのは委員長のみという場面があった。

委員会褒賞/ミネート事業

５月公開例会
「The Sakata Matsuri Experience!」
開催日：平成２９年５月18日(木)～２０日（土）

室褒賞/ミネート事業

魅力発見！イングリッシュサマーキャンプ
開催日：平成２９年８月10日(木)～１２日（土）

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

＊事業実施に至る背景

今年は地域でも交流人口拡大に向けた機運が高まっており、まちの命題である交流人口の増加を促し将来のインバウンド獲得を見据えた運動を展開する良い機会です。市民意識変革団体である我々が率先して、地域の魅力を発信する能力を高める運動の確立が必要です。

＊事業目的（対外）

地域内外の外国人に当地域の良さ・酒田まつりの良さを体感していただきます。また、他地域に住む人々にも魅力を伝えます。

＊事業目的（対内）

外国人を身近に感じ外国人対応の自信を身に付けます。また、広い視野で地域益を考えられる人材へと成長し、地域の魅力を発信する能力を育成します。

＊参加員数報告

＊対外参加者数

山形市からバス利用して参加した留学生　44人

鶴岡市からバス利用して参加した留学生　36人

庄内在住外国人など現地集合した参加者　45人　合計125人

＊対内参加者数：　59名　＋　新入会員予定者　5名

①開会セレモニー、②お囃子交流会、③閉会セレモニーの3つのうち2つ以上参加した人数

＊対外協力団体・協力者

山形大学　小白川キャンパス・鶴岡キャンパス

鶴岡市出羽庄内国際村

酒田市国際交流広場

山形県

バンティング・ティモシー助教、ジュディ先生

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

5月18日（木）開会セレモニー
山形県　インバウンド・国際交流推進課　林圭一様講演
東北公益文科大学　バンティング・ティモシー助教講演

多言語音声翻訳アプリ「VOICETRA」の紹介

参加者交流および事前学習用FBページ運営

山形県運営　中国語＆タイ語　フェイスブックページ「VISIT　YAMAGATA」掲載

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

山形大学様とのご縁は続いております！

2018年2月・3月に
山形大学
ヨークセントジョン大学（イギリス）
公益社団法人酒田青年会議所による
留学生インターンシッププロジェクト
YIISプロジェクト開催予定

参加外国人によりSNSで配信された写真

参加外国人によりSNSで配信された写真

5月20日（土）山車行列参加

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

「魅力発信国際委員会は体験で魅せる！」

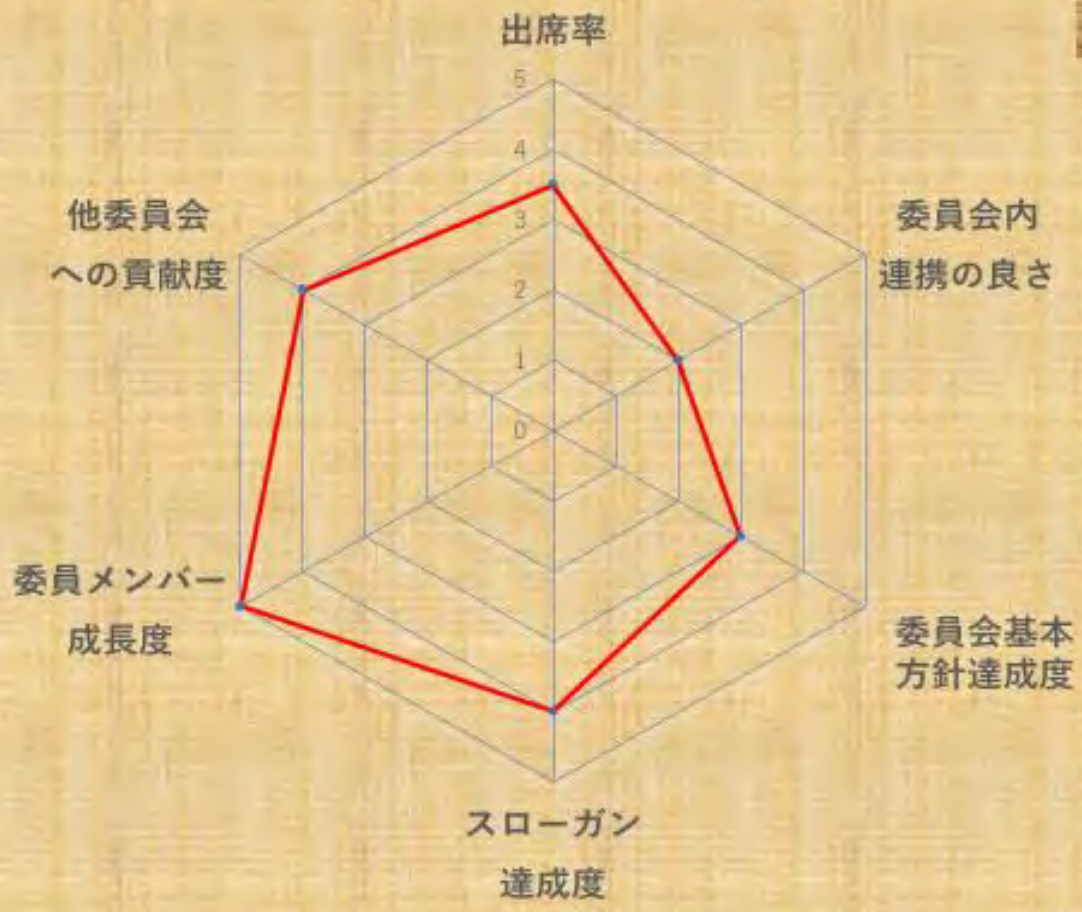
〈検証〉

・5月公開例会では対外参加者125名が酒田まつり山車行列を体験し、酒田市内観光を体験。

・魅力発見！イングリッシュサマーキャンプでは、小学生30名に当地域の魅力・英会話を体験してもらいました。外国人スタッフ12名も当地域を体験。

JCI Junior Chamber International SAKATA

外部からの検証



魅力発信国際委員会にコメント

●将来のインバウンド獲得を見据え、県内の外国人を集客するパワーは素晴らしいと思った。

●委員長の人脈や人柄をfullに活かした素晴らしい事業でした。

●まつり事業との連動はできないと思います。

●酒田まつり当日の例会は良くないと思います。スケジュールがタイトすぎました。メンバーへの負担が増え、LOMの人数が少ないのに国際山車の巡行により日吉丸の引手不足になるのは本末転倒です。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 素晴らしき哉 青少年育成委員会 9月公開例会

開催日　：平成２９年９月１８日（月）

参加人数：出席　外部４０名　内部５７名　参加率：５５．８％

子どもに相互尊重の意識を高め、保護者には子どもの成長に必要なコミュニケーションの大切さを認識してもらうために、ブラインドサッカーを活用したワークショップを開催しました。

　親子レクレーションな感じで、楽しく和やかに執り行われ、大人からは『子どもが常時に伝えられている姿を見て感動した』等、子どもたちの成長に必要なコミュニケーションは

認識できたといえます。しかしブラインドサッカーをどう上手くするかに集中してしまい、本来の学びとは少し違った方向性となってしまいましたが、アンケートから「相手に伝える必要性が認識できた」という結果から、本例会はコミュニケーションを学ぶ一助となったといえる。

委員会運営の報告・検証

・基本的に毎週水曜日19:30～を委員会開催日時と設定して、メンバーが予定を立てやすいスケジューリングを心がけました。
・何を決めるのかを次第にする際、理事会と同じ形式のAGENDAを作成して、メンバーがPCで議案を見れるようにしました。
・議案作成時期は委員会開催時間が22時を過ぎてしまう反省点がありました。
・委員会終了後には懇親会を開催し懇親を深めました。
・委員会オリジナルポロシャツを作成し、例会への君を高めました。例会参加率も高く、わんぱく相撲も選手・観客・メンバーともに多くの動員を達成できたこともあり、「大入」の文字を入れてます。委員会の一体感が生まれる工夫をすると一年の活動が終わったあとも絆が続くと思います。

褒賞/ミネート事業

わんぱく相撲大会酒田まつり場所
開催日：平成２９年５月２１日(日)

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

TV番宣・TVCM

酒田市子どもまつり

わんぱく相撲大会周知募集活動

ちゃんこのツヨシ

学童保育所訪問

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

わんぱく相撲大会酒田まつり場所

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

市長・町長表敬訪問

パブリックビューイング

わんぱく相撲全国大会

わんぱく力士壮行式

両国国技館

JCI Junior Chamber International SAKATA

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

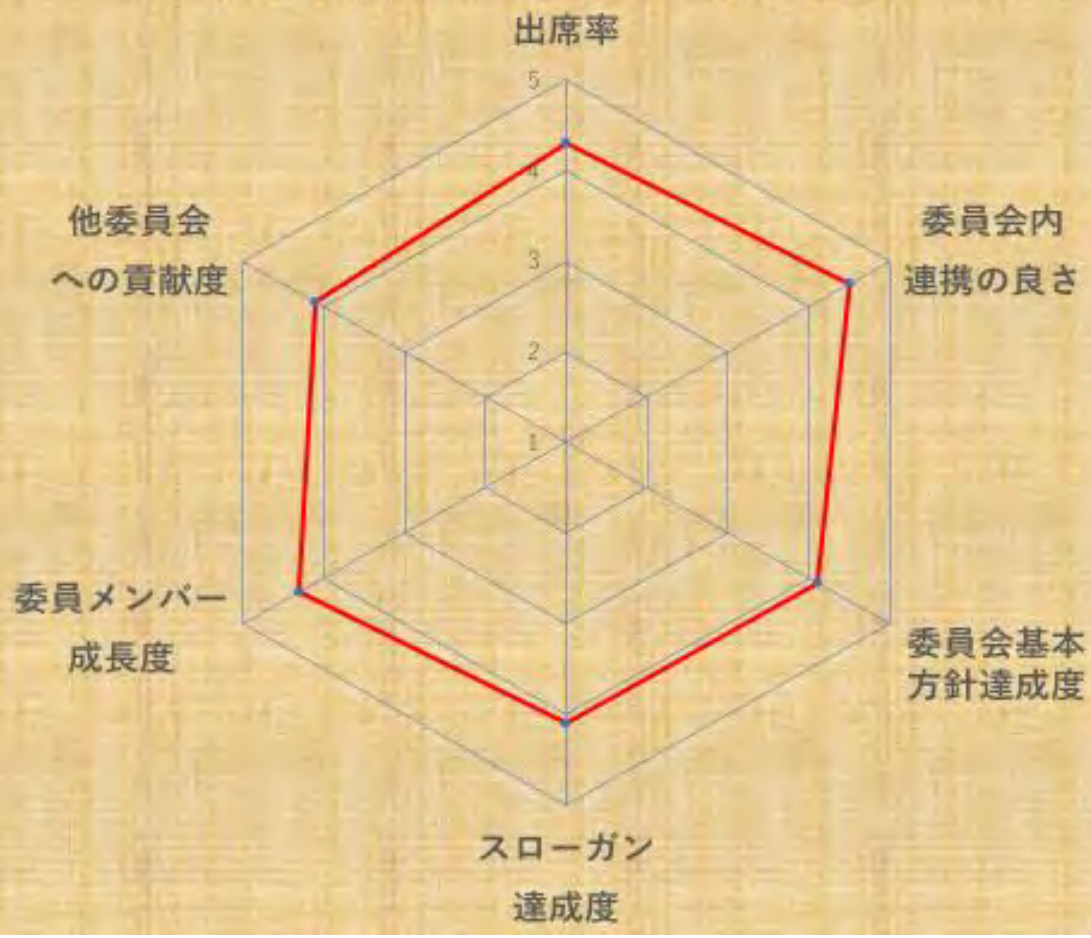
素晴らしき哉青少年育成委員会は『懐』で魅せる！

（ふところ）

〈検証〉

子ども達へ心に残る体験を通じて、故郷を懐かしむ心を育み、懐の深いメンバーで事業参加と委員会活動ができました！

外部からの検証



素晴らしき哉 青少年育成委員会 にコメント

●わんぱく相撲について、ちゃんこ屋を通してわんぱく相撲をPRし、プレスも上手く行えてPR効果は素晴らしかった。

●わんぱく相撲について、メンバーの一体感が素晴らしく、周知活動を含め歴史に残る事業でした。

●９月例会について、着眼点は面白かったが、参加人数が少ないので、準備にJCメンバーの使った時間などを考えると労力に対する効果性が低いと思う。

●９月例会について、委員会メンバーが内容を把握していない人がいた。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

未来創造国際・青少年室　室事業

魅力発見！イングリッシュサマーキャンプ

～酒田みらいユースプロジェクト第2期～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

＊事業実施に至る背景

今年はインバウンド獲得に向けた取り組みに県・市が力を入れており、地域の命題である国際交流人口拡大に向けた運動がひろがっています。将来の民間外交の担い手である子ども達の国際感覚を磨き地域の魅力を発信する能力を高める運動の確立が必要です。

＊事業目的（対外）

海外の人に英語で地域の魅力を発信できる郷土愛溢れる若者を育成することを目的とします。

＊事業目的（対内）

子ども達と共に国際意識を高め地域の魅力を再認識し、地域の国際感覚向上の必要性を考えることを目的とします。

＊参加員数報告

＊対外（小学生参加者）

小学校4年生	男子	4人	女子	13人	合計	17人
小学校5年生	男子	2人	女子	3人	合計	5人
小学校6年生	男子	4人	女子	4人	合計	8人
合計	男子	10人	女子	20人	合計	30人

＊対内メンバー参加率

45人／102人（44%）

＊対外協力者

- 酒田市契約ALT5名＋庄内町元ALT1名
- 山形大学小白川キャンパス留学生3名、鶴岡キャンパス留学生3名
- 酒田みらいユースプロジェクト第1期生　5名
- 公益社団法人日本青年会議所「世界の中の日本プログラム」
- 山形県海浜自然の家職員様

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

酒田JC初企画

地元の魅力 英語で

小学生がイングリッシュキャンプ

ALTと自然や文化を体験

ワイド地域

英語で国際感覚磨こう

小学生キャンプ 外国人と交流

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 絆で繋げる まちづくり委員会

委員会運営の報告・検証

・日頃から楽しみながら雰囲気よく委員会が出来たため、参加率が良かった。
・委員会メンバー全員に役割を与え、一人一人がしっかりと役割を果たすことによって、委員会メンバーの成長へとつながり、また委員会メンバーが例会事業を自分の事として考えることができた。
・他の委員会の例会、事業への積極的な参加を促すことができなかった。
　➡提出期限当日の連絡のみとなってしまっていたのでもっと事前に連絡や声かけを行うべきでした。
・例会、事業当日が近づくと委員会開催の連絡が当日となってしまうことがあった。
　➡委員会メンバーも状況を理解していたため、参加率がよかった。

委員会褒賞/ミネート事業

6月公開例会
開催日：平成２９年６月１７日(土)

室褒章/ミネート事業

まち・ひと・みらい創造室
夕陽ラインシンポジウム
開催日：平成29年10月7日（土）

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

6月公開例会

災害体験フェスティバル　～ドーンと防災2017～

・一般参加者　460名達成
ありがとうございます♡

・防災・減災について
楽しく学べた　89．9％

・防災・減災を自分のこととして
考えられるメンバーが
例会後75．7％に！

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

絆で繋がっちゃった委員会！

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

「絆で繋げるまちづくり委員会は実効性で魅せる！」

〈検証〉

・6月例会では400名以上、夕陽ラインシンポジウムでは300名以上の参加者を動員することができました。

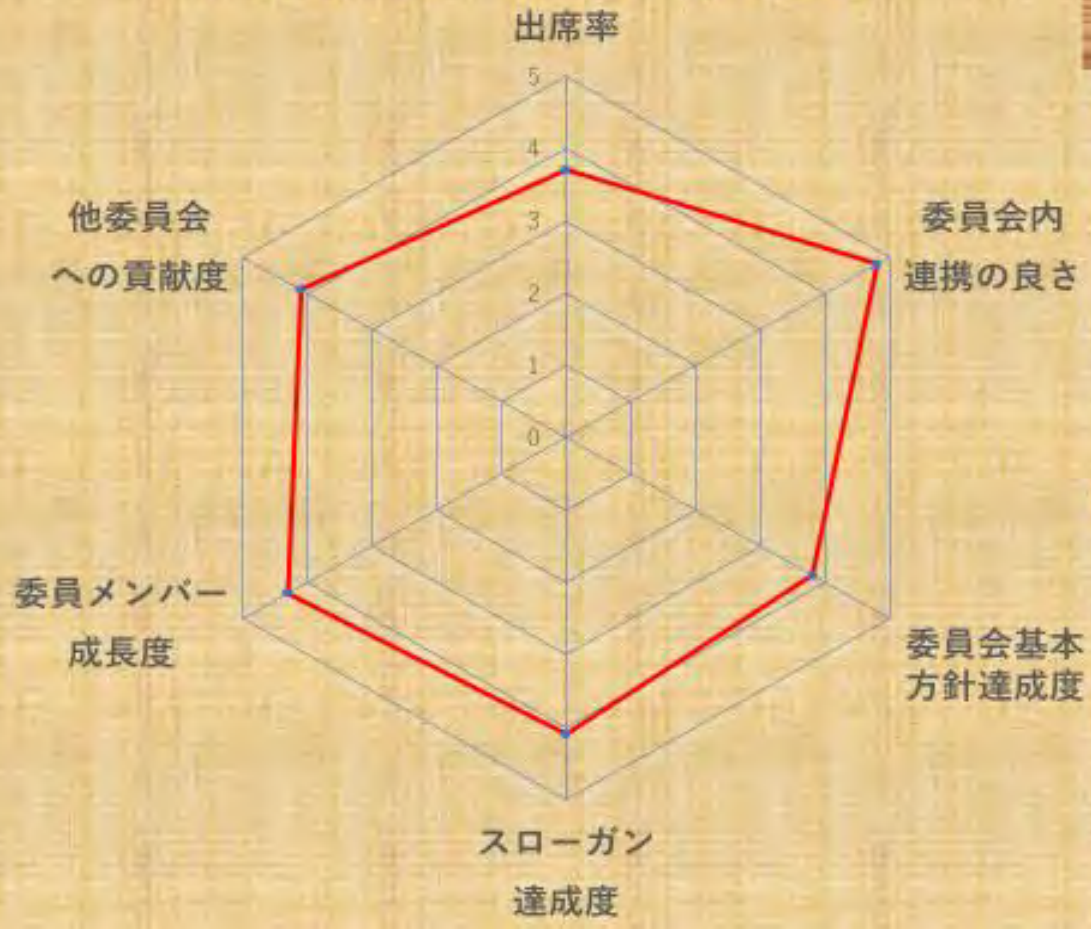
・6月例会では参加者の56．1％が災害を身近に感じて頂き、災害に対して備えることの重要性を66．9％の方に感じて頂き、防災・減災に対する意識を変革することが出来ました。

・夕陽ラインシンポジウムでは、アンケートより早期開通の必要性を感じて頂けた方が98．1％、また100％の方が日沿道が開通することによる地域へのメリットを感じて頂き、早期開通への意識を高めることができました

・6月例会、夕陽ラインシンポジウムでは多くのメンバーや市民、地域の団体を絆で繋げることができました。

JCI Junior Chamber International SAKATA

外部からの検証



絆で繋げるまちづくり委員会にコメント

●多くの方が楽しめる良い例会でした。また、応援団の文化が酒田JCに生まれた。

●防災の意識を高め、子供達も楽しめる良い事業でした。

●内容の素晴らしさももちろんですが、集客がしっかりできていたのが素晴らしいと思います。

●後半が少しだれていたように思う。時間設定の問題か、役割分担の問題なのか、今後検討、改善する必要があるように思う。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 まちはひと委員会

みんなでつくろう！Aranamiまるしぇ

開催日：平成２９年９月１０日(日)～１０月３日(火)
参加人数：延べ出席４８名　参加率：４７％

１０月７日（土）開催の「日本海夕陽ライン２０１７ Aranamiまるしぇ」の事前準備をメンバーと一緒に行うことで事業への機運を高める目的で開催しました。
第１回目は９月１０日（日）のクラフト素材集め、２回目は９月１６・１７日（土・日）のフラッグづくり、

３回目は、計画外でしたがチラシへの訂正シール貼りを行いました。特に訂正シール貼りでは昼夜問わず、本当にたくさんの皆様よりご協力いただき、当会議所の底力を垣間見ることができました。

委員会運営の報告・検証

当委員会は、委員会にメンバー全員が揃うことは一度も叶いませんでしたが、事前の資料作りや当日の役割、事業の準備等、全メンバーが各々の時間を利用し取り組んでくれました。多様な職種で構成される組織ですので、同じ時間に一堂に会することは難しいと思います。各人の役割を明確にしその役割を全うすることで、組織としての成果が得られるのだと思います。

また、多くの開催を交流広場を利用して行ったことから、ある程度決められた時間内で、集中して協議をすることができたと思います

褒賞/ミネート事業

２０１７年度　７月公開例会
開催日：平成２９年７月８日（土）

JCI Junior Chamber International SAKATA

【第一部】 みんな一緒の時代から、それぞれひとりひとりの時代へ

時代背景の認識～事例紹介

- 1945年終戦
- 1955年から始まる高度経済成長期
- 1986年から始まるバブル期
- 失われた20年
- 成長社会から成熟社会へ
- 人口減少社会

経済と価値観が
どのように変遷していったのか

伊那食品工業株式会社

『会社は社員の幸せのためにある』をモットーに、先を見通す経営を行ってきた。

株式会社アップルファーム

『働く人の幸せを考えていれば、利益は後からついてくる』と考え、これからも社員に「ずっとここで働きたい」と言われる会社経営を追求していく。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

【第二部】公益資本主義セミナー

渋沢栄一の子孫が伝える　これからも続く「いい会社」の条件

しぶさわ　けん

渋澤 健

コモンズ投信株式会社会長／シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役
財団法人 渋沢栄一記念財団理事

経 歴

1961 年	日本の資本主義の父・渋沢栄一 5 代目子孫として生まれる。
1969 年	父の転勤で渡米。
1983 年	テキサス大学 BS Chemical Engineering 卒業。
1984 年	財団法人日本国際交流センター入社。
1987 年	UCLA 大学 MBA 経営大学院卒業ファースト・ボストン証券会社（NY）入社。外国債券担当。
1988 年	JP モルガン銀行（東京）入社。
1992 年	JP モルガン証券会社（東京）入社。国債担当。
1994 年	ゴールドマン・サックス証券会社（東京）入社。国内株式・デリバティブ担当。
1996 年	ムーア・キャピタル・マネジメント（NY）入社。アジア時間帯トレーディング担当。
1997 年	同社東京駐在員事務所設立。
2001 年	シブサワ・アンド・カンパニー株式会社創業。
2008 年	コモンズ投信株式会社創業。

投資家から見る、『末永く応援したくなる良い会社の条件』を
知ることにより、自社と照らし合わせ、今後の経営のヒントを得る

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

【第三部】 いい会社が「人」を「地域」を輝かせる

有限会社アップライジング

「寄付金」
タイヤの販売本数に応じて寄付。
（2015年2月～2017年4月時点で総額150万円）

「地域貢献」
従業員と共に、通学中の小学生と挨拶を交わす、交通安全運動へ参加。

「人命救助」
アルバイトをしているベトナム人留学生が、川で入水自殺を図ろうとしていた女性を救出。CRMをはじめとする社会貢献活動が従業員にも良い影響を与えている。

JCI Junior Chamber International SAKATA

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

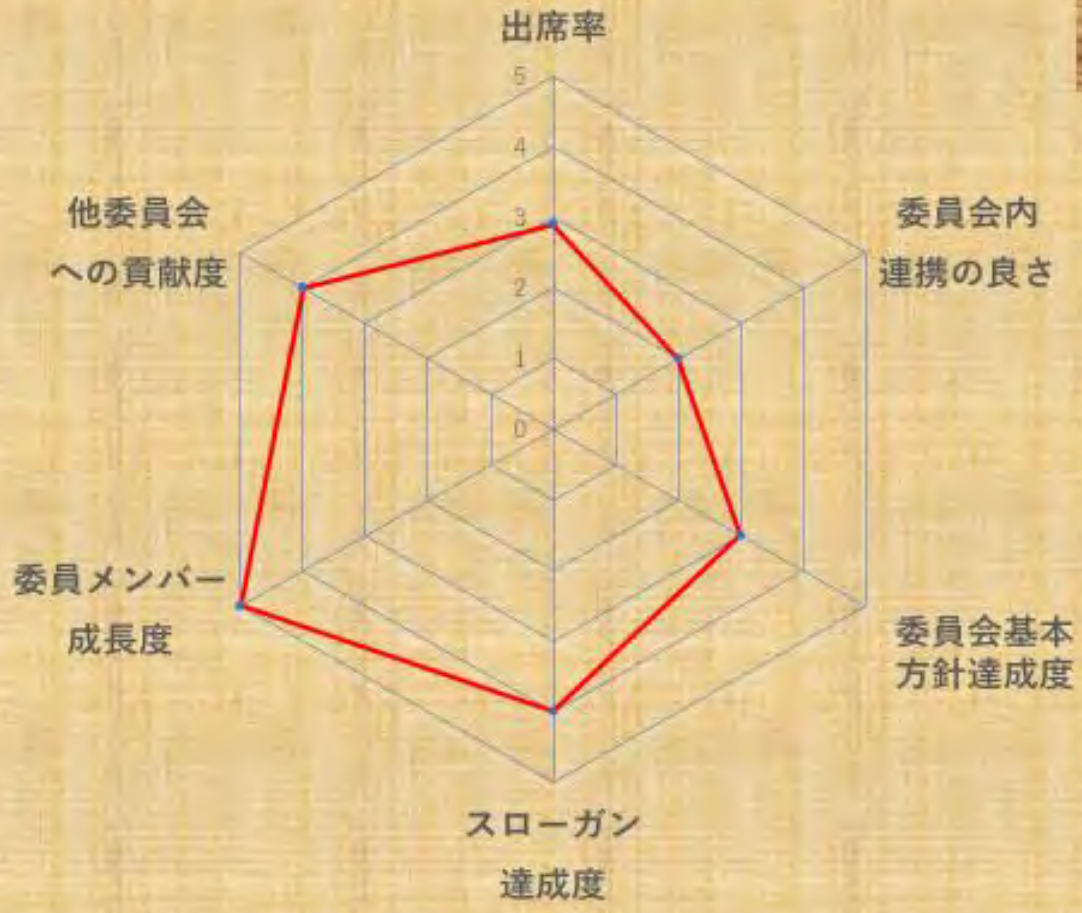
「まちはひと委員会は期待感で魅せる！」

〈検証〉

【７月公開例会】１０年後も残る可能性の高い企業の条件を掴むことができましたか？の問いに対し７９．３％の来場者が「分かった（少し分かった含む）」と回答をしています。

また、対内アンケートにおいては、「社員の幸福度を追求していく」「周囲から必要とさせる人・企業になる」「変化をしていく」と回答

外部からの検証



まちはひと委員会にコメント

●メンバーに依頼して穴埋めを行ってくれ、問題なく事業を回して下さった力量が素晴らしい。

●雇用は現代日本が抱える課題ですので雇用ミスマッチ改善は興味深いテーマだと思います。

●多くのメンバーを巻き込んで素晴らしい事業が出来ました。

●内容は面白かったが、一般の方の参加が少なく、参加推進に課題が残る。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

第29回夕陽ラインシンポジウムin遊佐　地域連携とインフライノベーション～市民と描くまちの未来～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

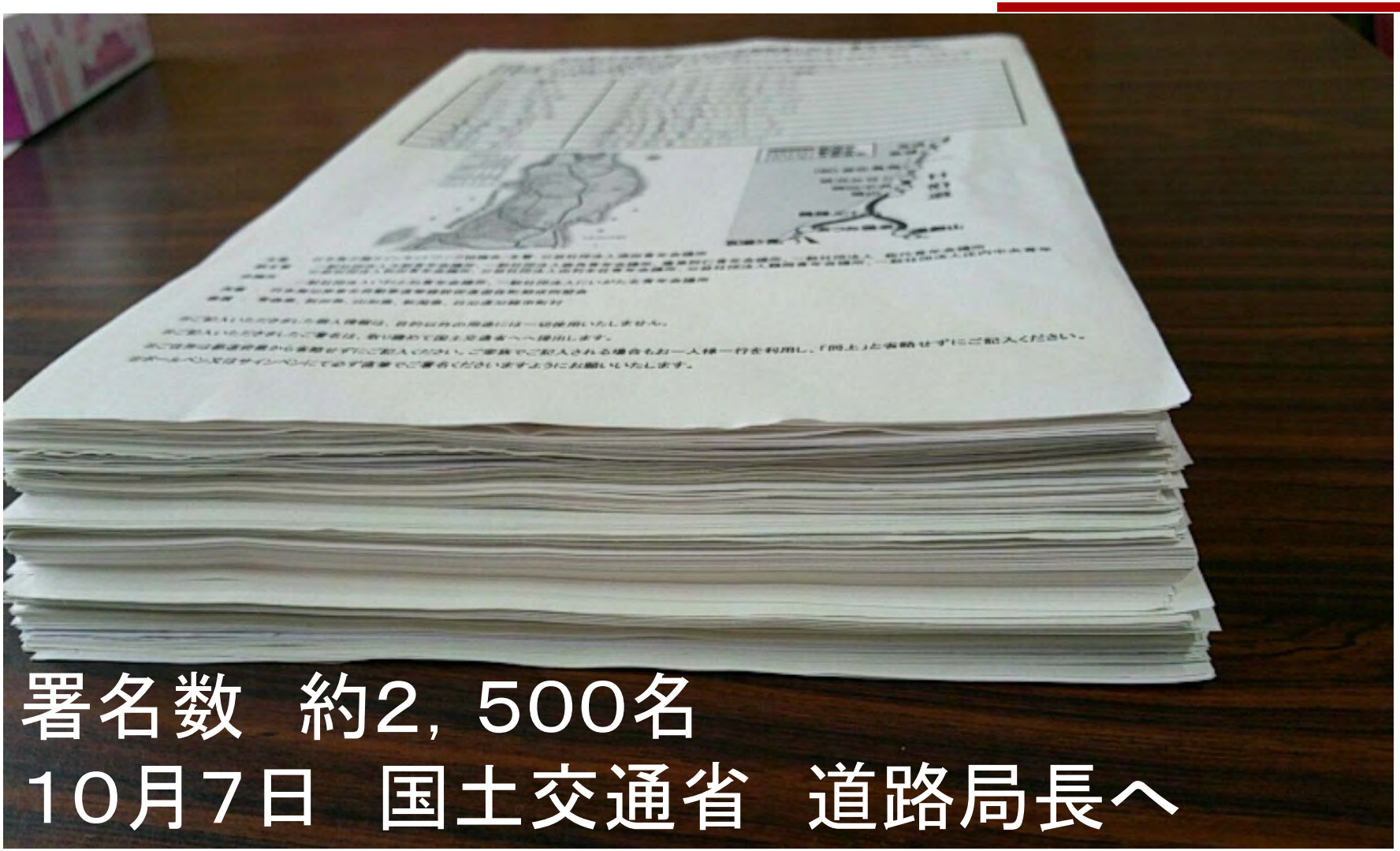
日本海夕陽ライン2017
Aranamiまるしぇ

10月7日(土)
10:00～17:00
鳥海温泉「遊楽里」特設会場

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～



署名数　約2，500名

10月7日　国土交通省　道路局長へ

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

新入会員セミナー

【第１回セミナー】　開催日：平成２９年５月１６日（火）
　まつり塾、張り子製作に携わっていただき、当会議所の酒田まつりへの関わり、事業、運動・活動を知っていただき体験していただきました。
【第２回セミナー】　開催日：平成２９年５月２９日（月）
　大矢理事長より青年会議所に関して講話して頂き、ＬＯＭメンバーの魅力や価値などを伝えていただきました。また、ＪＣ活動の基礎となるＮＥＷ　ＪＡＹＣＥＥを荒生専務にお話しいただきました。
【第３回セミナー】　開催日：平成２９年６月３０日（金）
　セレモニーについて実際に当委員会で行い今後の例会でセレモニーを行えるように一緒になって学びました。また、入会規定・入会までの流れ・今年度１２月３１日までの流れ・仮配属・当委員会の役・今後のＬＯＭ・ブロック・地区・日本の事業等・昨年の入会者にヒアリングをして知っておくべきことを伝えました。
　昨年入会メンバーより、１１月例会についてどのような内容でどのように取り組んだのかを伝えました。
【第４回セミナー】　開催日：平成２９年７月１２日（水）
　丸山酒田市長より、『酒田の現状と今後、酒田青年会議所に期待すること』と題して講演をしていただきました。酒田の現状と将来の展望を知るだけでなく、酒田市長の講話を間近で聞くことができ、さらに地域に対して関心を持っていただく機会になりました。

2017年度 未来へつなぐ拡大・広報委員会

委員会運営の報告・検証

・広報と拡大、２つの委員会が一緒になったことで議題が増え、委員会を多く開催しました。1回の委員会の時間も長く、参加人数も少ない運営になってしまいました。
・広報と拡大を１つに重ねて考えることが出来ず、全てを把握するのが困難でした。会議だけではなく実働が多い委員会なので、作業は偏らないように割振りできる役がひつようでした。

褒賞/ミネート事業

４月公開例会　　開催日：平成29年4月14日（金）
創る広報セミナー
～お金をかけない効果的な広報でブランド力を高めよう～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

4月公開例会

創る広報セミナー

～お金をかけない効果的な広報でブランド力を高めよう！～

開催 4月14日(金)19時～21時
酒田勤労者福祉センター3F多目的ホール

講師 栗田朋一氏
株式会社ぐるなびの広報責任者
株式会社外食広報会設立
東京・名古屋・大阪PRアカデミー主宰者

広報企画シート 講演のポイントを要約し作成
実際に活用した効果を報告
活用の促進

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

広報企画シート　広報企画実践編

- 広報企画シートを活用した事例報告
- キャッチコピーやストーリーづくりのコツ
- 広報の楽しさ・自社の魅力を再考
- 酒田青年会議所の取り組みをPR

Press Release　　手打そば出羽

報道関係者各位

庄内の米と蕎麦で造った「そばどぶろく」誕生
～蕎麦屋の隠し酒　そばどぶ～

米どころと知られる庄内では、近年米の消費低迷により栽培面積の縮小や添削が続いています。また蕎麦も過剰供給により価格が低迷し蕎麦と米の拡大の為には新商品の開発が必要と考え庄内の米と蕎麦を使用し、この度「そばどぶろく」を造りました。
商品開発にあたりましては「八幡ソバ研究会」と連携したり、山形大学農学部や楯の川酒造などの支援を受け、納得いくまで試作を重ね、今までのどぶろくには無い辛口シャープな味わいを生み出しました。株式会社出羽では、社員一丸となって精力的に商談会・展示会に出展しています。そばどぶろくを通して酒田の『蕎麦』を全国に発信することで、今後も地域の農家の皆さんのお力になれればと思います。

POINT

- 米どころ庄内の蕎麦屋が手がけた新商品「そばどぶろく」が誕生。
- 蕎麦は多くの栄養素を含み、健康志向の今のニーズに合う。
- どぶろくを通して酒田のお米や蕎麦を全国に発信し、地域に貢献したい。

【お問合せ】
株式会社 出羽　TEL 0234-25-4580　FAX 0234-22-8634
〒998-0832 山形県酒田市両羽町 5-4

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

対外参加目標人数･･･150名
対外参加人数･･･56名
目標達成率　37，3％

お店・企業の知名度や信頼度の向上が
ゆくゆくはまちの魅力を高め･･･

重なることよって
地域全体のブランド力の向上へ!!

一人ひとりが発信意識を高め多くの人が
このまちの良さを広く伝えることにより･･･

地域活性化に!!

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

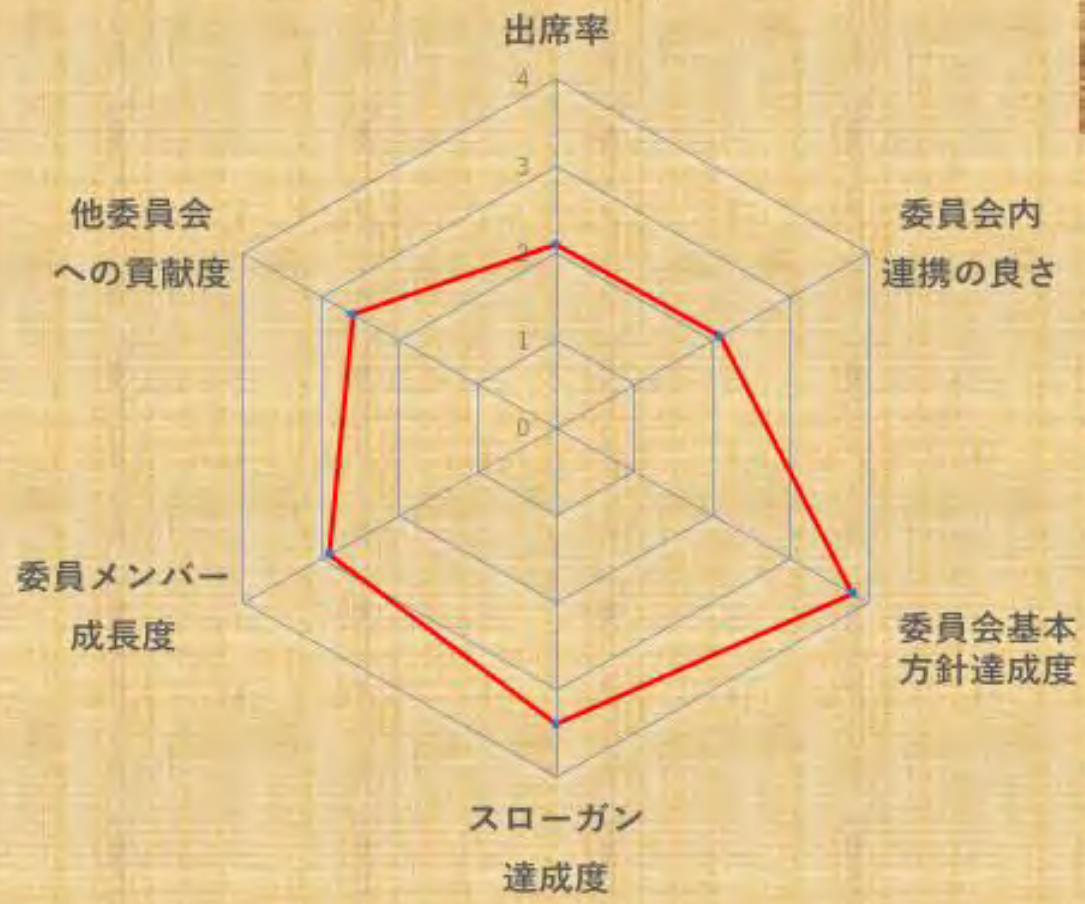
「未来へつなぐ
拡大・広報委員会は
行動で魅せる！」

〈検証〉

自分達が率先して行動し
21名入会しました！

JCI Junior Chamber International SAKATA

外部からの検証



未来へつなぐ 拡大・広報委員会 にコメント

●春の石川委員長の疲労いっぱいでありながらも毎日拡大活動に明け暮れている姿は周囲の意識も変えたと思います。

●２委員会を合同で率いることになった石川委員長本当にお疲れ様でした。

●拡大は、石川委員長が頑張ってた印象。その頑張りが他の人を動かしたと思う。

●石川委員長お疲れ様でした。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 地域最興まつり委員会

まつりカンパニー

開催日：平成２９年１月１日～７月１日

酒田まつり事業へ準備の段階から参加・参画する機会を創出し、事業の理解浸透と技術伝承も含めた会員育成と併せ、酒田まつり事業の最大化を目的に行われました。宵まつり部、本まつり部、山鉾共同製作部、ＰＲ部と４つの部署に分かれ、部課長を中心に多くのメンバーが関わり様々なアイディアを盛り込む事で、酒田まつり事業の最大化に寄与する事ができました。

3月例会

開催日：平成２９年３月２２日　　出席者：６６名　参加率：６４．７％

酒田まつり事業に対する理解を深め、当事者意識を高めることを目的にまつりカンパニー第一回全体会議という位置付けで開催しました。第一部では各部署の進捗や職務を報告を行い、第二部ではクイズ形式で山王祭を紐解き、部署内で話し合って回答することによって結束を固め、酒田まつり事業に積極的に参加していく意識を醸成する事が出来ました。

天晴！まつり塾

開催日：平成２９年２月１５日～７月１日

今年で５回目となるまつり塾は酒田まつりに参加する機会の提供と自立参加推進の二本立てで開催しました。本まつりでは多くの光陵高校が新たに加わり本まつりを盛り上げ、閉校式ではまつりを通して地域に対する関心が高まり、まちづくりを語る塾生も生まれました。新規に山車を製作し巡行参加した広野地区では、まつり後すぐ次年度を見据えた活動がスタートし、伝統文化を継承する地域・市民の拡大に寄与しました。

委員会運営の報告・検証

【報告・検証】

当委員会は、経験豊富なメンバーが多く集い酒田まつりに向けてスタートを切りましたが、出向や長期出張・繁忙期などによりルームでみんなが集まり委員会を開催する事が難しく、大きな課題でした。しかし、運営幹事を中心にFBやDropboxを活用し情報共有と意見集約を行う事で、離れていても意見や資料を貰える環境が築かれメンバーが一丸となって取り組みチームワークに助けられた一年でした。

【引継ぎ】

リーダーが明確なゴールを示し、委員会メンバー全員でそこまでの道筋をしっかりと話し合ってください。2018年度酒田山王祭りまであと１８９日！

褒賞/ミネート事業

夜巡行

開催日：平成２９年５月19日(金)

場所：みなとオアシス酒田エリア

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

２０１７年度　酒田まつり

夜巡行

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

１９日 ： みなとオアシスエリア

Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

酒田らしい夜のおまつり

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

〈新春初顔合わせ会での言葉〉

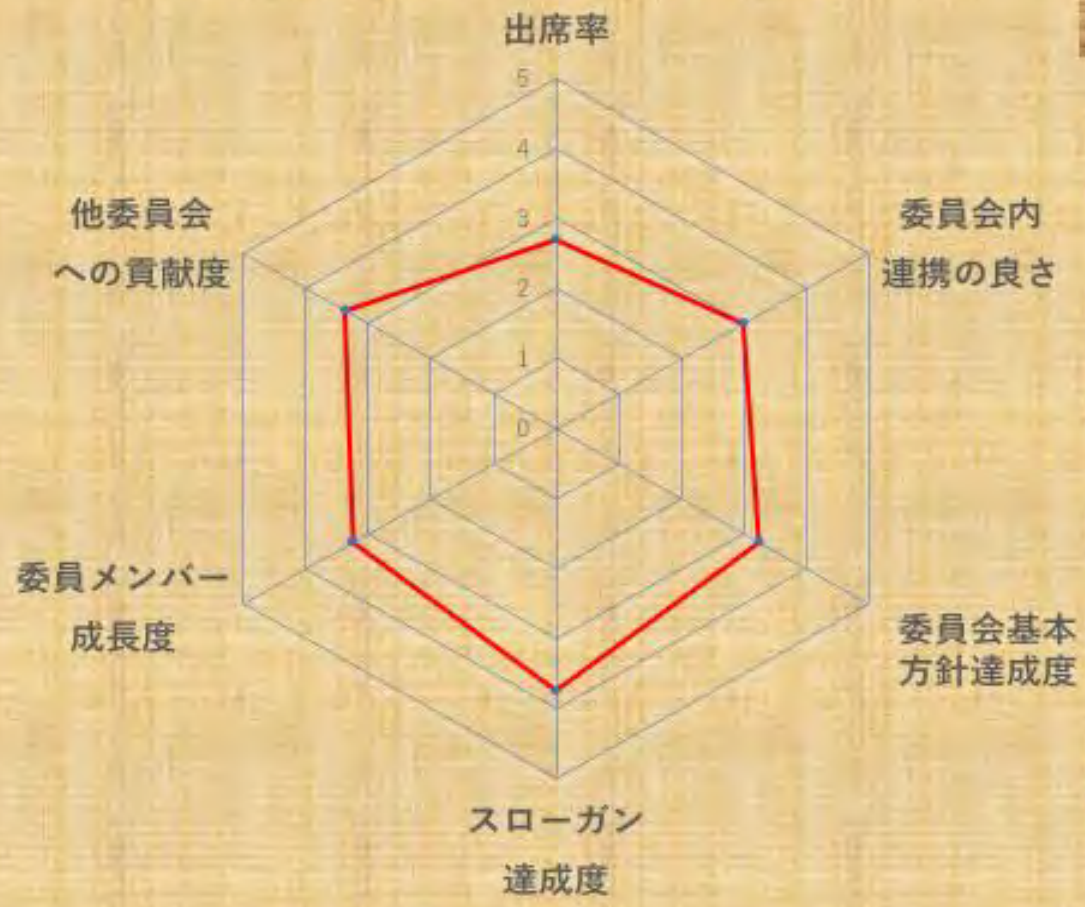
地域最興まつり委員会は

喜怒哀楽 魅せる！

感謝

JCI Junior Chamber International SAKATA

外部からの検証



地域最興まつり委員会にコメント

●カンパニーがうまく機能せず、一部の人に負担が集中していた。

●カンパニー組織を来年度も継続するならばメンバー全員の参加意欲を高めるような導き方が必要。

●全メンバーを巻き込み酒田まつりに向けて取り組む新たな指針を示すことが出来ました。

●みなとオアシスの宵祭りで他団体が参加したことはよかった。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 横堅伝承山鉾委員会

立て山鉾改修及び建設

開催日：平成２９年２月１５日（木）～５月２７日（土）

立て山鉾の改修は酒田まつり長期構想における立て山鉾の役割を理解し、立て山鉾の巡行を推進する人財の育成を目的行われ、建設は立て山鉾に対して市民プライドを醸成することを目的に行われました。カンパニーメンバーを中心に多くのメンバーからご助力頂き、紙張しか体験した事のないメンバー方とも数多くの仕事を一緒に行うことができました。また建設に関してもボルトの一つまでピックアップし整理することができましたので、次年度に対してスムーズに引き継ぐことも可能になりました。

立て山鉾協賛金募集及び返礼品

開催日：平成２９年２月１５日（木）～８月３１日（木）

協賛金募集計画は立て山鉾の存在意義と我々が長期構想として掲げている未来像に共感してもらうことを目的に行われ、返礼品計画は立て山鉾の協賛に対する感謝の意を可視化するとともに、市民・企業の立て山鉾への興味・関心を引き出す仕組みを構築することを目的に行われました。協賛金に関しては自社以外一社の担当を割り振り、結果多くのメンバーのお力により予定額を大幅に上回る金額を募ることができました。また返礼品に関しても本人が回った協力者のもとへ返礼品をお配りすることにより個々の繋がりをより強めつつ感謝の意を伝えるのと共に、立て山鉾のPR活動へも貢献することが出来ました。

10月例会

開催日　：平成２９年１０月２７日（金）

10月例会は立て山鉾が観光を中心としたまちの未来を切り拓く起爆剤となることを理解して頂き、当会議所が示す立て山鉾事業の未来ビジョンへ共感して頂くことを目的に行いました。本例会には山形県港湾事務所所長、酒田市商工観光部部長、酒田まつり実行委員会実行委員長代行をパネリストとしてお招きし三者から忌憚ご意見を頂くと共に当事者意識を持った発言をして頂くことが出来ました。最後には協力体制を確認することが出来ましたので、次年度以降運営面に置いても円滑に行うことが可能になりました。

委員会運営の報告・検証

【報告・検証】

当委員会は改修・建設・協賛金・返礼品・映像投影・クラウドファンディング・ミニチュア立て山鉾製作・出前授業・構造計算書作成・10月例会と多岐に渡る事業を行いましたが、どの事業一つとっても委員会メンバーのみで行うことが出来ませんでした。青年会議所のメンバー皆様お一人お一人のご助力に深く感謝するのと共に、山鉾事業へは諸先輩方の血の滲むような努力が集結されていることを再確認することができました。また多くの事業を行う中6名の委員会メンバー全員が何らの形で参加し貢献して頂いたことに深く感謝し本当に助けられた一年でした。

【引き継ぎ】

多くのメンバーからご協力で成り立っている山鉾事業は人と人との繋がりが最重要だと痛感しております。JC内外から愛されご助力頂ける絆を大切に委員会運営を行って下さい。

褒賞/ミネート事業

立て山鉾魅力発信事業

開催日：平成２９年３月15日(水)～9月１７日（日）

内容

映像投影・クラウドファンディング・ミニチュア立て山鉾

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

「横」の事業

※ミニチュア立て山鉾

※クラウドファンディング

「竪」の事業

※立て山鉾映像投影

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

～横竪伝承の由来～

横竪には文字通り「横」の意味と「縦」の意味の他「自身」と「他者」。「時間」と「空間」の意味合いがあります。
当年度の事業は【立て山鉾事業】を縦の軸【まつり塾事業】を横の軸と捉え、市民の意識を導いていき、想いと技術を伝承していきます。

JCI Junior Chamber International SAKATA

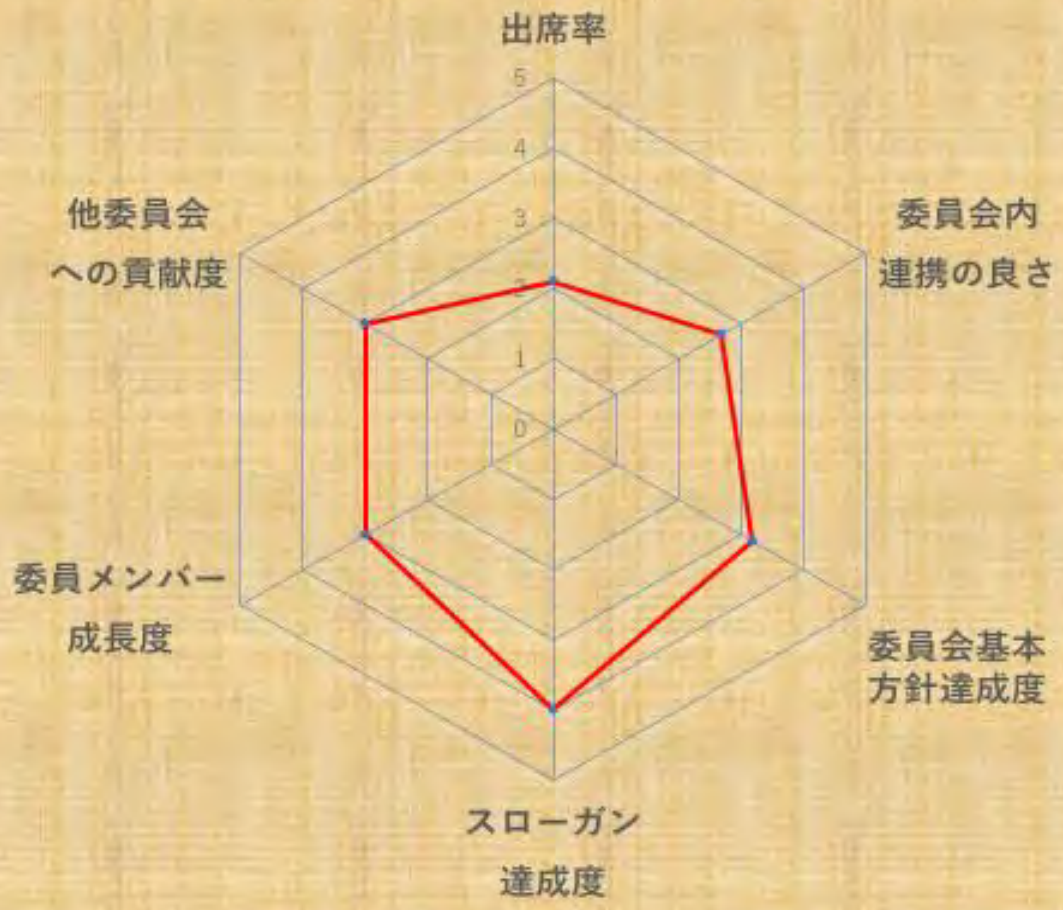
〈新春初顔合わせ会での言葉〉

「横堅伝承山鉾委員会は心意気で魅せる！」

〈検証〉

酒田まつりとまちの文化を内外にPRし、酒田を代表する観光資源として常時活用する礎を築きました。

外部からの検証



横竪伝承山鉾委員会にコメント

●実働メンバーが少ない中活動していたメンバーは1人で何人分かの仕事をしていたと思います。その中で取り組んだ事業に成功して素晴らしいと思います。

●10月例会について、対外の参加者が少なすぎる。参加推進が出来てなかった。

●クラウドファンディングは新しい手法への取り組みで評価できる。

●委員会メンバーで作り上げていない。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 事務局

OMOIYARIプロジェクト

開催日　：平成２９年６月１８日（日）
参加人数：対内９２名　参加率：８６％　対外４２８名

「やまがたをひとつに」という理念の基、山形ブロック協議会が主催となり「OMOIYARIプロジェクトが１０年目を迎えました。
今年の会場は実績と行政からの要望で浜中あさり海水浴場と十里塚海岸入口付近およびメンバーは酒田市、遊佐町全域（会社周辺、自宅周辺、公園付近）とより多くの人が参加し易い会場を選定しました。

海岸清掃では多くの企業やボランティアそして行政を巻き込んで行く事が出来ました。
メンバーからは家族や職場の人など身近な人を巻き込んで各々が出来る場所を清掃、活動の意義を認識していただけたと思います。

委員会運営の報告・検証

１年間の事務局は全員で仕事を分担、サポートしながら委員会運営を行ってきました。齋藤事務局長、佐々木事務局次長を中心に、それぞれが動ける時間帯に効率よく時間を使い、例会の受付や、Ｆａｃｅｂｏｏｋでの１か月の予定の配信、アテンダンス時の設え等、ＬＯＭが円滑にまわるように事務局内で密に連携し活動してきました。反省点として、より良い設えにするための細かな事前準備と確認が必要です。

褒賞/ミネート事業

２月例会
開催日：平成２９年2月２1日(火)

青年会議所の可能性
～魅せる運動で共感を生み出すため～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す
～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

公益社団法人　酒田青年会議所
2017年度　事務局

2月例会

～魅せる運動で共感を生み出すためには～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

第1部
青年会議所の可能性
～青年会議所で得たもの～

阿部　敦　先輩

第2部
自らJCを語れる真のJAYCEEへ
～なぜ拡大が必要なのか～

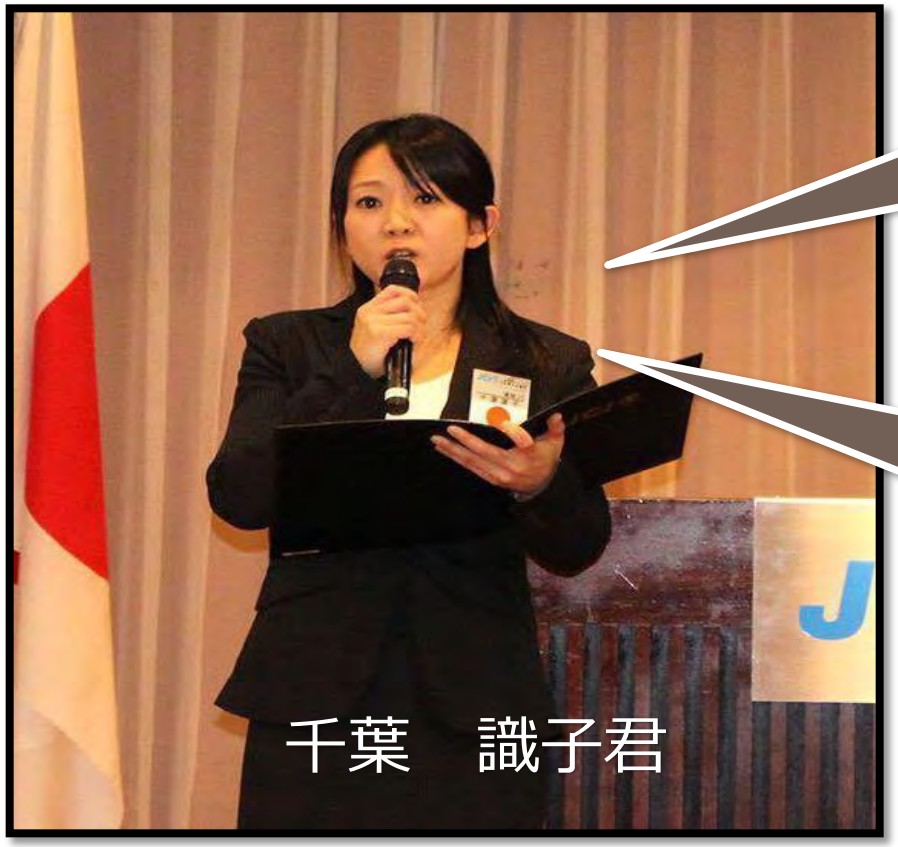
鈴木　篤　先輩

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

第3部
委員会発表



もったいない！

人生を大きく変える！

JCI Junior Chamber International SAKATA

２０１７年度事務局は・・

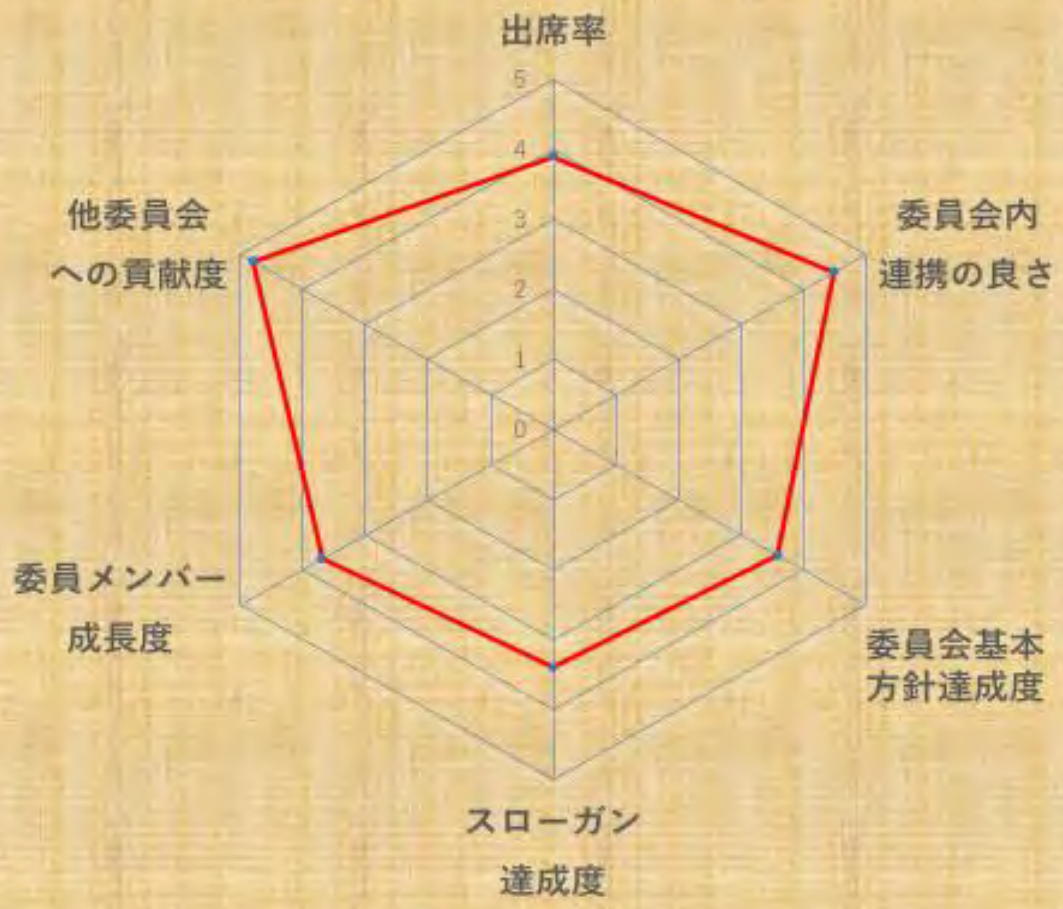
組織力で魅せる！

⇓

１つのまとまりに組織する能力。また組織として
団結することで発揮される大きな力
一丸となって組織力で難局を乗り切る

1年でメンバーとの絆は深まりました
真の楽しみは苦しみの中にこそある！

外部からの検証



事務局にコメント

●ほぼすべての例会の受付を担当され、誠にありがとうございました。大変助かりました。

●例会、アテンダンスへの参加お疲れ様でした。多くの方が参加されていて、JC活動への本気度が伝わってきました。

●２月例会について、年度の早い時期に会員拡大やJayceeとしての心構えが再確認できたことは良いことだと思う。

●OMOIYARIプロジェクトについて、直前まで内容が定まらなかったり、メンバーへの周知が弱かった。

財政局

財政局の検証

＜悪かった点＞

1、年度当初、財政局主体で各委員会の委員長、会計幹事を招集し、決算書の作成方法並びに見積書の添付方法等を説明したが、周知出来ていなかった。

2、各委員会からの質問等に対して、的確な指示ができなかった。

3、期日が迫ってからの対応で、訂正する時間を設けられなかった。

＜良かった点＞

1、年度当初に開催した説明会で使用した資料が年間を通して活用できた。

2、財政審査会議の年間スケジュールを年度当初作成し、月二回程度、財政局のみで行ったことによりスケジュール管理が容易であった。

3、決算書担当、コンプラ担当、議案本文担当等、財政局内でも担当を細分化したことで、処理がスムーズであった。

原因

1、財政局メンバーのスキルが不十分であった

2、各委員会と意見交換が不十分だった。

＜改善策＞

財政局内でも、研修会等を開催し、スキルアップが必須。また、横のつながりだけでなく、縦の繋がりが必要。

具体的には前年度だけではなく、過年度の会計、財政メンバーの協力を得て財政コンプリートマニュアルを作成することが、改善策であると考えました。

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

2017年度 総務委員会

1月通常総会・新春初顔合わせ会

1月通常総会

開催日　：平成29年1月24日（火）
参加人数：出席69名、委任状・書面表決30名、欠席3名
参加率（委任状・書面表決による出席含め）：97．0%

全メンバーで総会決議のすべてを承認し、2017年度の運動・活動を円滑にスタートすることを目的として開催した1月通常総会。全メンバーによる決議には至らなかったものの、無事に2017年度体制をスタートさせることができました。

しかしながら、「総会へ出席する」という意味を重要視した当委員会では、会員として総会・例会は義務というものだけではなく、どう向き合うべきかを如何に伝え共有していくかということが課題として残りました。

新春初顔合わせ会

開催日　：平成29年1月27日（金）
参加人数：出席69名　参加率：67．6%

今年度の方向性や覚悟をもち活動していく意志を来賓・関係諸団体へ発信し、当会議所の運動・活動に理解と協力をいただき、交流を深めることを目的とし開催した新春初顔合わせ会は、新年度のスタートがうまく切れるか否かを左右する程のビックイベントです。当委員会では、新春初顔合わせ会の意義をしっかりと理解し、綿密な計画のもとで準備・運営を行う必要があるとの認識を持ち、新春初顔合わせ会を設えました。

委員会運営の報告・検証

委員会開催について：総務委員会は１０月末で計３６回の委員会を開催。スタート時にうまく引き込めなかったメンバーもおり、全員で一丸となっての委員会とはならなかったが、協力・分担して少数ながらも上手く運営できたと思う。今年度は開催毎に次の開催日を決めていたが、年間や事業毎に開催スケジュールを組むことで、メンバーの参加率向上を図れるのではないか。特に１月の総会と新春はしっかりとスケジュールを立てて臨むことにより、委員会として一丸となることができると思う。

議事録について：議事録は運営幹事が作成し、副委員長の確認後、FBへ掲載する形をとった。議事録は委員会に参加していないメンバーにもわかるように、決定した事だけではなく、「なぜ決まったのか？」という理由の部分も記載するように心がけた。この「なぜ」の部分が協議では重要で、事業を行う上での理由付けとなる。それにより、協議した考えをしっかりと打ち出すことができていたと思う。おそらく例年、新入会員が運営幹事となり議事録を作成することとなる。同委員会のＪＣ歴の長い方からフォローをしてもらい、この「なぜ」の部分を考えることは、新入会員の成長につながるので、是非ご検討を頂きたい。

褒賞ノミネート事業

２０１７年度　８月通常総会
開催日：平成２９年８月８日（火）

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

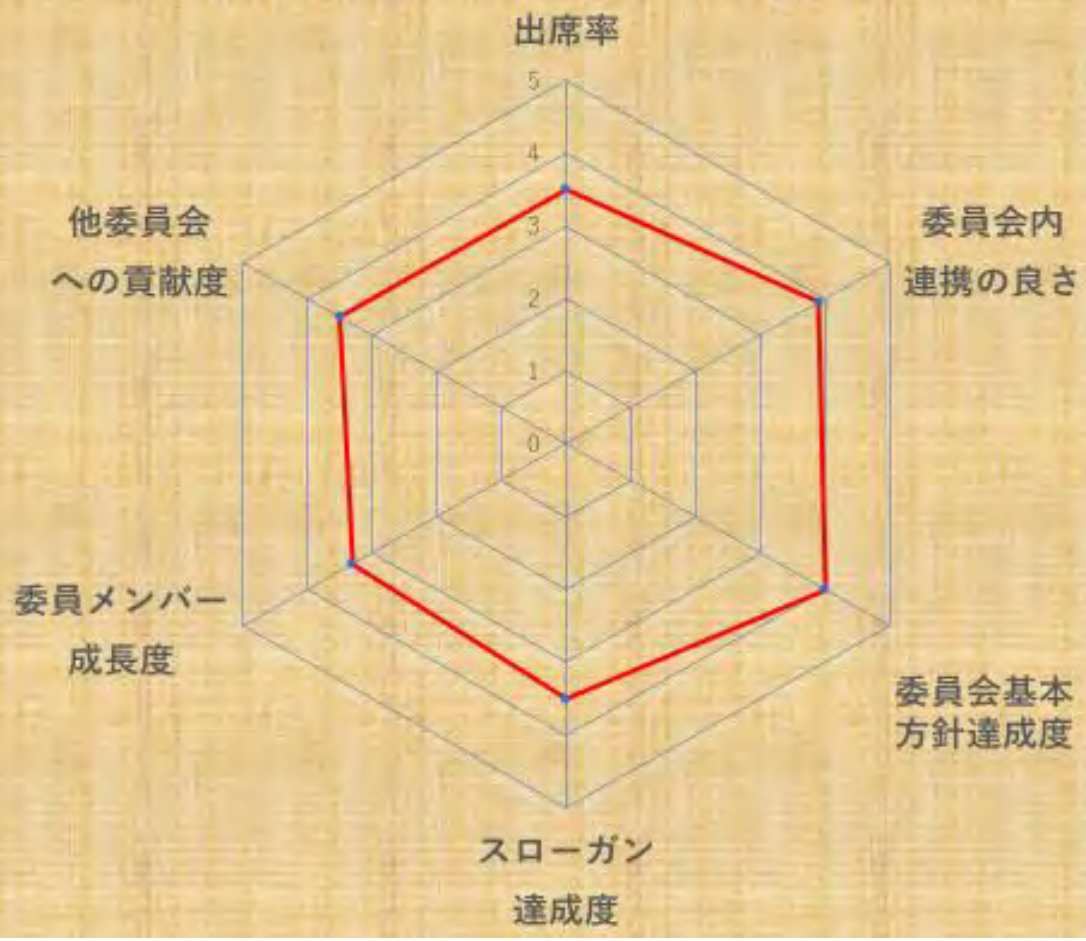
〈新春初顔合わせ会での言葉〉

「総務委員会は品格で魅せる！」

今年度の総務委員会は品格と規律を意識した組織づくりを掲げ委員会運営をしてきました。１年間の委員会活動を通して、時代は変わりそれに伴い変わり続けていく中で、これまで紡がれてきたもの・受け継がれてきたもの、変えてはいけないものの学びがあり、今後の酒田青年会議所の運動・活動に繋がる委員会運営ができたのではないかと思っております。

JCI Junior Chamber International SAKATA

外部からの検証



総務委員会にコメント

●伝統を尊び素晴らしい総会を開催することができました。

●総会がしっかり廻せるということは目立たなくとも全ては総務委員会様の頑張りと思います。

●スローガンにある「魅せる」を全メンバーに浸透させるのがよかった。

●委員長らしさが出ていてよかった。

新入会員例会報告

魅せる運動で共感を生み出す
～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

公益社団法人酒田青年会議所
2017年度
１１月例会

酒田美人が活躍するJCの未来

～組織の常識を超えろ！新入会員の挑戦～

JCI Junior Chamber International SAKATA

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

座談会を実施

JCI Junior Chamber International SAKATA

第二部
「より女性が入会したいと思える　酒田青年会議所へ」

Aグループ
　外部のイメージ改革
Bグループ
　自分たちの意識改革

魅せる運動で共感を生み出す

～心を重ねて未来（あした）を創ろう！～

JCI Junior Chamber International SAKATA